

検診機関における要精検率について

長崎県では、令和 3 年度（令和元年度実施分）より各市町あて「検診機関毎の精度管理指標」の調査を実施しています。

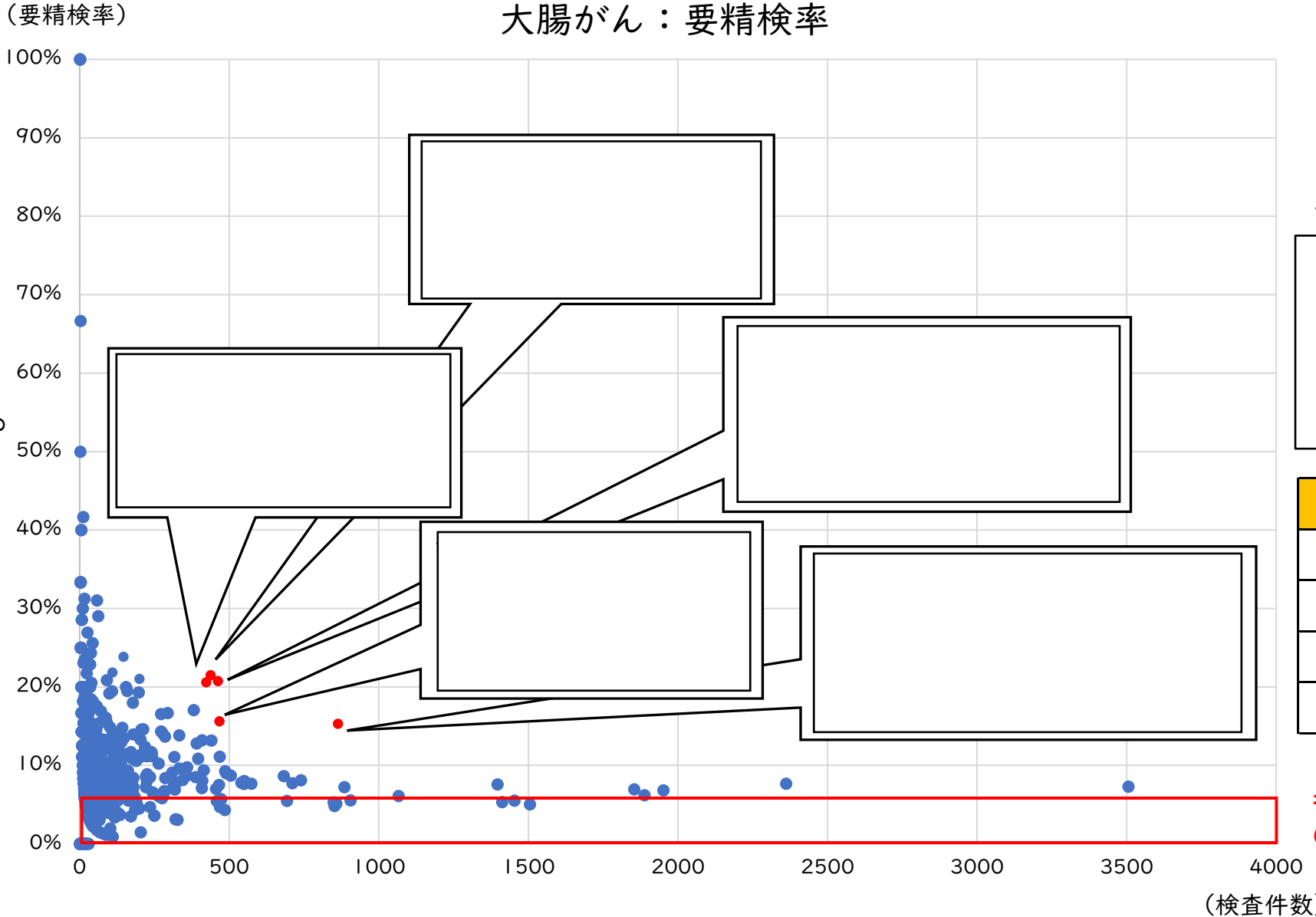
市町が委託している検診機関の精度管理指標値（受診者数、要精検者数、精検受診者数、がん発見数等）をがん種別に報告いただき、集計をしています。

昨年度、令和 3 年度実施分のがん検診において、受診者数が 100 人以上かつ要精検率の基準値である 6.8% の 2 倍を超える検診機関を対象にした検診機関への聞き取り調査を実施しました。また、今年度は、大腸がん検診における便潜血検査において、自院で定性検査を実施している検診機関に対し、フォローアップ調査を実施しています。

令和 8 年度は、資料 5 - 4 5, 6 ページ「大腸がん検診における便潜血検査のフォローアップ調査について（案）」のとおり、令和 7 年度に定性検査を実施している全ての検診機関を対象にしたフォローアップ調査を実施したいと考えております。

該当する検診機関の精度管理状況等を確認しながら、更なる精度管理の向上を図ってまいります。

令和4年度検診における要精検率の分布図：検診機関別



<検出条件>

- ・ 検査件数100件以上かつ
要精検率が基準値の倍 (12.4%) 以上
- ・ 要精検率 (%) と検査件数の積が
大きいものから順に上位5機関を抽出

精度管理指標	基準値	
要精検率	6.2%	以下
精検受診率	90.0%	以上
がん発見率	0.16%	以上
陽性反応的中度	2.6%	以上

基準値
6.2%以下

- ・令和7年度からの県内の大腸がん検診では、便潜血定性検査は用いず、定量検査を標準法とすることを推奨する方針について通知（令和7年2月10日付け6医政第500号通知）
- ・今年度、自院で定性検査を実施している検診機関を対して、令和7年度の検査状況及び今後の見直し予定等のフォローアップ調査を実施

■調査対象

令和6年度「事業評価のためのチェックリスト(検診機関用)」において、大腸がん検診の便潜血検査において、自院で定性検査を実施している報告があった検診機関

■調査対象検診機関数 55機関(回答率:100.0%)

■調査期間 令和7年8月4日(月)~20日(水)

■調査結果

1. 外部委託状況(55機関)

外部委託している	26機関
外部委託していない	29機関

2. 便潜血検査の判定方法(29機関)

※外部委託していない検診機関のみ回答

定量検査	2機関
定性検査	27機関

3. 定量検査への見直し予定(27機関)

※現在、定性検査を実施している検診機関のみ回答

予定あり	11機関
予定なし	16機関

4. 定量検査への見直し時期(11機関)

※定量検査への見直し予定がある検診機関のみ回答

令和7年度	3機関
令和8年度	5機関
その他	3機関

5. 定量検査への見直し予定がない理由(16機関)

※定量検査への見直し予定がない検診機関のみ回答

機器の導入コストが高額のため
定性検査は結果がすぐに分かるため
現状で特に問題がないため
市町の方針に合わせる

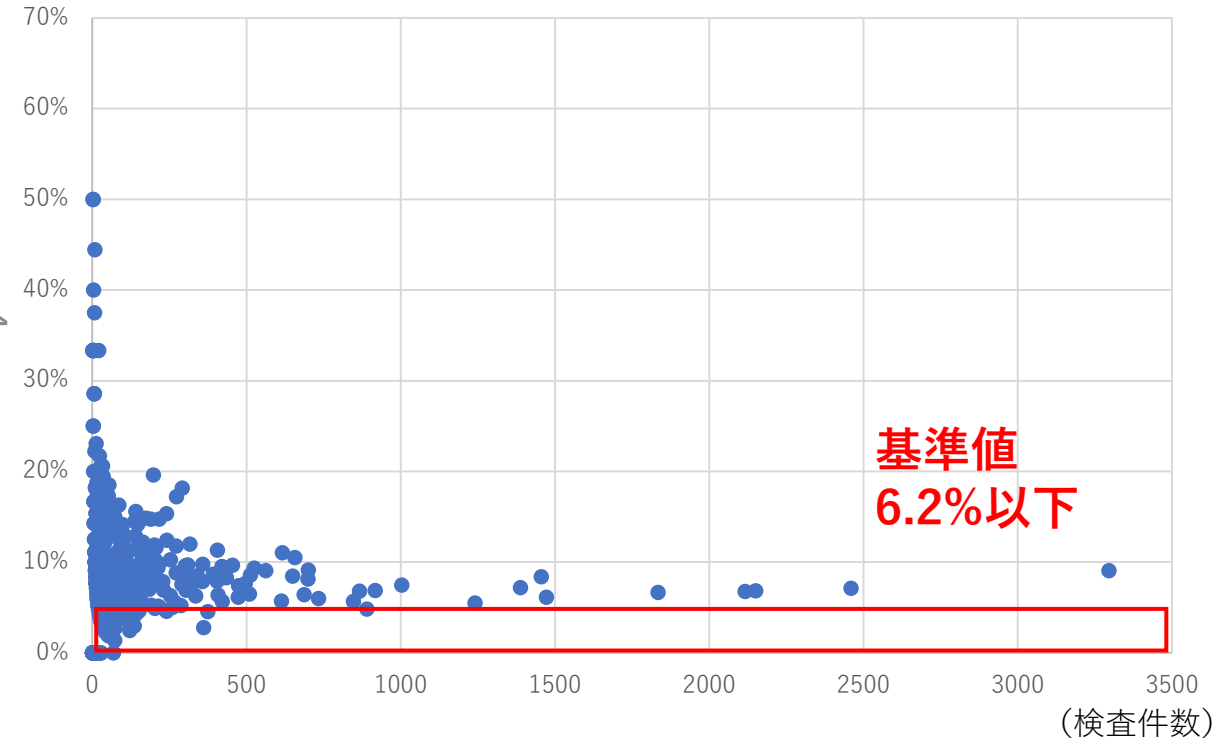
（参考）【大腸がん検診】要精検率の分布図（検診医療機関ごと）

令和4年度検診に係る「プロセス指標値（要精検率）」を、各検診機関における便潜血検査の定量検査と定性検査を実施状況（※）に応じて分類し、以下の分布図を作成
 ※令和6年度「事業評価のためのチェックリスト（検診機関用）」調査結果

精度管理指標	国が提示する基準値
要精検率	6.2%以下
がん発見率	0.16%以上
陽性反応的中度	2.6%以上

外部委託または定量検査（県内536施設）

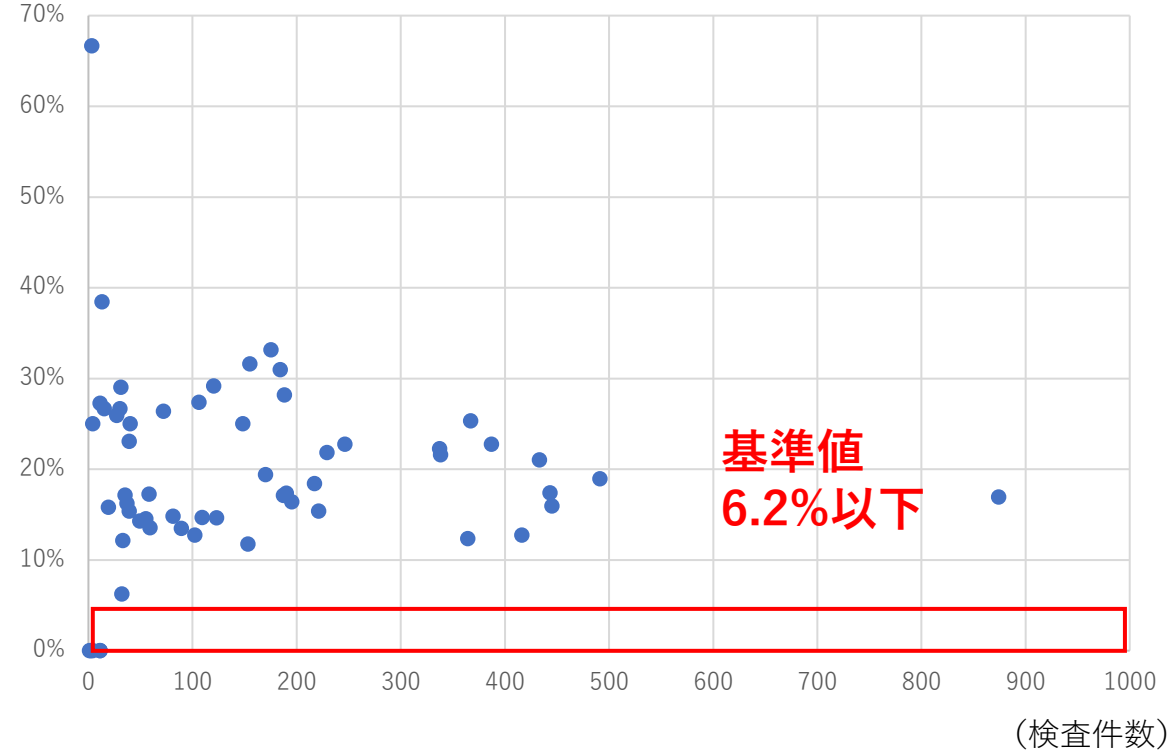
（要精検率）



受診者数：68,264名 要精検者数：5,439名 がん発見数：195名
要精検率（要精検者数／受診者数）：8.0%
がん発見率（がん発見数／受診者数）：0.29%
陽性反応的中度（がん発見数／要精検者数）：3.6%

定性検査（県内55施設）

（要精検率）



受診者数：9,013名 要精検者数：1,761名 がん発見数：28名
要精検率（要精検者数／受診者数）：19.5%
がん発見率（がん発見数／受診者数）：0.31%
陽性反応的中度（がん発見数／要精検者数）：1.6%

(案)

資料 5 - 4

医政第 号
令和 年 月 日

各大腸がん検診実施医療機関長 様

長崎県保健医療対策協議会がん対策部会
専門委員会大腸がん委員長
長崎県医療政策課長
(公印省略)

大腸がん検診における便潜血検査のフォローアップ調査について (依頼)

日頃より本県のがん対策の推進にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、令和 7 年 2 月 10 日付け 6 医政第 500 号通知により、令和 7 年度からの県内の大腸がん検診では、便潜血定性検査は用いず、定量検査を標準法とすることを推奨する方針について通知したところです。

つきましては、昨年度に定性検査を実施していると回答があった医療機関における検査状況及び今後の見直し予定について把握するため標記調査を実施いたします。ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、別紙回答票にご記入のうえ、令和 年 月 日までにご提出いただきますようお願い申し上げます。

各医療機関におかれましては、対策型がん検診の目的や本県における大腸がん検診の方針について、何卒ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくようお願い申し上げます。

なお、回答結果については県大腸がん委員会委員へ共有いたしますので、予めご了承ください。

(添付資料)

- ・別紙 フォローアップ調査回答票
- ・参考資料 1 令和 7 年 2 月 10 日付け 6 医政第 500 号通知
- ・参考資料 2 大腸がん検診における各検診機関の要精検率の分布図

〒 8 5 0 - 8 5 7 0

長崎県長崎市尾上町 3 - 1

長崎県福祉保健部医療政策課がん・疾病対策班 木原

電話：0 9 5 - 8 9 5 - 2 4 6 7

(案)

フォローアップ調査回答票

長崎県福祉保健部医療政策課
がん・疾病対策班 木原 行
FAX：095-895-2573

【 / () ×】
メール、FAX、郵送可

医療機関名： _____

回答者名： _____

連絡先： _____

※下記回答内容について、詳細をお尋ねさせていただく場合がございます)

※回答内容についてご不明な点がある場合は、検査会社に確認してご回答ください。

1. 令和8年度の便潜血検査の判定方法を選択してください。

定量検査 (自動分析機) ⇒ カットオフ値 (ng/ml)

※外部委託している場合は、検査会社名をご回答ください。

SRL CRC チューケン BML ラボテック

その他 ()

定性検査 (OC-ヘモキャッチ、クイックチェイサー等の検査キットでの目視判定)

※外部委託している場合は、検査会社名をご回答ください。

SRL CRC チューケン BML ラボテック

その他 ()

2. 現在、定性検査を実施している医療機関は、今後定量検査に見直す予定がありますか。

予定あり ⇒ (時期：)

予定なし ⇒ (理由：)

ご回答ありがとうございました。